

Tomorrow



2020. 11. 4 (水) 発行

稲刈りも終盤、朝夕は肌寒さを感じるようになってきました。

入学して半年が過ぎ、あどけなさが残っていた子どもたちも中学生らしくなってきました。新人戦や県秋季大会では主力選手として活躍する場面も見られました。中学3年間を見通せば、これからが充実の時期(とき)です。一見単調に見える日々の積み重ねが大切です。授業に集中できていますでしょうか。社会や学校のルールが守れているでしょうか。思いやりの心をもって人と接することができているでしょうか。今一度、親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。

3年生にとってはよいよ進路選択の時期になります。2年後はすぐにやってきます。そのときになって慌てなくてもいいように、今何をなすべきかを考えてみてはいかがでしょうか。



11月行事予定

1	日	県秋季大会～2日	
2	月	教育相談週間～10日	
3	火	文化の日*****	
4	水	6校時 ⑥火6 専門委員会	SC
5	木		
6	金		
7	土	* * *	* *
8	日	* * *	* *
9	月	歯みがき・読書週間～13日	
10	火		
11	水	校内研修 部活動なし	SC
12	木	歯科検診 現金集金日	
13	金	県駅伝大会 現金集金日	SC
14	土	*****	
15	日	*****	



16	月	諸会費引落日	
17	火	校内研修 部活動なし	
18	水	6校時 ⑥火4	SC
19	木		
20	金	期末考査範囲発表	SC
21	土	*****	
22	日	*****	
23	月	勤労感謝の日 部活動停止～2朝	
24	火		
25	水	諸会費引落日 職員会議	
26	木		
27	金		SC
28	土	* * * *	* * * *
29	日	* * * *	* * * *
30	月	期末考査①(美数英英社)	5校時



<12月の主な予定>

1日 期末考査② / 4日 学校保健委員会 / 17・18日 個人懇談会 / 23日 給食最終日
24日 終業式 / 25日 冬季休業日～6日 / 28日 学校閉庁～3日

◆お知らせとお願い

- ・2学期の懇談希望調査の締め切りが5日(木)、PTA学年委員選出用紙の締め切りが6日(金)になります。よろしくお願いいたします。なお、懇談予定表の配布は12日(木)を予定しています。
- ・13日(金)に県教育委員会から配布される「秋テスト」を実施する予定です。国語と数学の2教科になります。詳細はお子様を通して連絡します。

◆ハンセン病問題を通して行った人権学習

新型コロナウイルス感染症に関する誹謗・中傷などの差別が社会問題化している昨今を受け、先日、1年生は、ハンセン病問題を通して人権学習に取り組みました。まず、10月16日(金)にハンセン病問題の認識の度合いを測るためにアンケート調査を行い、1時間目の授業として20日(火)の総合学習で映像資料「人間回復の橋、心のかけ橋となれ」を視聴し、この問題についての概略について学習しました。人権学習2時間目の翌21日(水)の道徳では「命尊し～本名を名乗る意味～伊奈教勝」を読みました。一人の元患者の方の半生を通して、国の誤った政策と正しく認識してこなかった多くの国民によって、計り知れない苦しみや悲しみを受け続けなければならなかった元患者の方々の心情面に迫る学習を行いました。そして、23日(金)の5・6時間目にはまとめ学習として国立療養所長島愛生園から学芸員の田村朋久先生をお招きして、「人権が尊重される社会のために～ハンセン病問題から学ぶ～」と題して講演をしていただきました。その内容はハンセン病の実態や治療法、国の隔離政策と差別の実態、元患者の方々の生活の様子、ハンセン病問題と今の社会情勢、差別解消のための取り組みなど多岐にわたるものでした。分かりやすく、何より差別を生まないためには正しく認識することがいかに重要であるかがよく伝わってきました。最後に、元患者の方が今の社会の現状を見て田村さんに話された、「この国は昔と少しも変わってねーなあ」という言葉が痛く心に響きました。



ハンセン病問題で大きな過ちを犯してきたわが国で、病気で苦しむ人々を、不安を感じている人々を再び差別するようなことが決してあってはならない、我々大人が、まず率先して言動で示していかなければならないと強く感じました。子どもたちは、じっと我々大人の言動を見聞きしていますから。

○生徒感想文/映像資料「人間回復の橋、心のかけ橋となれ」を視聴して

ハンセン病に感染してしまった人の「辛さ」と「悲しみ」を知りました。私はハンセン病というものを聞いたこともないし、岡山県にそのような施設があることも知らなかったけれど、今日の授業で知ることができました。感染してしまった人は家族や友だちと離されて、ハンセン病の専用の場所に連れて行かれて、そこから一生出られない、そういう悲しいことをする人たちが私は嫌いです。感染してしまった人が悲しい思いをしているのに、それを無視して家族と離ればなれにされると、私だったらとても寂しいし悲しいです。パンフレットに載っている感染してしまった人の話を読みました。とてもつらい状況で耐えていたのを知りました。パンフレットを読んだり、アニメや動画を見たりすると、とてもつらくて悲しいのが一目見て分かりました。これからの日本や日本以外の国が、ハンセン病に感染した人たちにしたような扱いを、他の人たちにすることがないように願っています。しっかり今週学ぶことを生かして、他のことにもつながりをもつことができたらしらとてもうれしいです。しっかりこれから学んでいきたいです。

○生徒感想文/田村朋久先生へ宛てての講演会の感想

お忙しい中、東陽中学校に来てくださり、ありがとうございました。「人権」という言葉がとても大切だと思いました。差別や偏見で、患者も、その家族も人権を侵害されるようなことがあったことを簡単に終わらせず、そこからどうすれば良いのかを考えることができました。また、本名とは違う偽名を使っていかないといけないう程、深刻だったことが分かりました。ハンセン病についてはあまり知りませんでしたが、この講演会を開いてくださったことで関心が少し高まりました。この度は、本当にありがとうございました。

